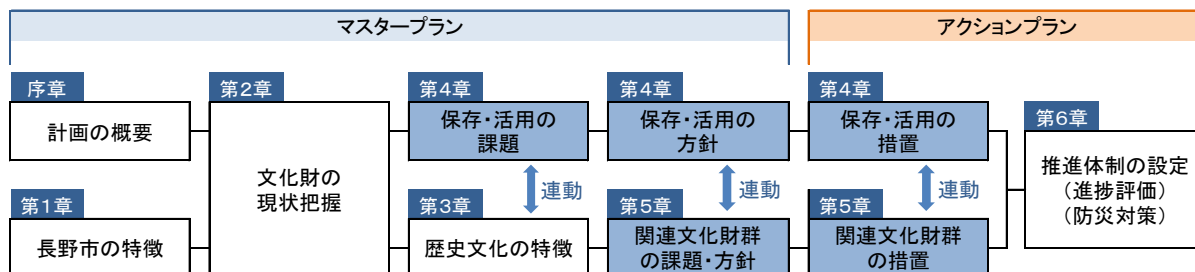


長野市文化財保存活用地域計画（第4章～第6章）

◎長野市文化財保存活用地域計画 体系図



◎長野市文化財保存活用地域計画 目次

章	項目	記載内容
序章 はじめに	計画の概要	1 地域計画の背景と目的 2 計画が目指す将来像 3 計画の位置づけ（関連計画） 4 計画期間、計画の体制・経過 5 計画の対象及び用語の定義
第1章 長野市の概要	長野市の特徴	1 自然的・地理的環境 2 社会的状況 3 歴史的背景
第2章 長野市の文化財	文化財の現状把握	1 文化財に関するこれまでの調査 2 地域計画の作成に伴う調査 3 長野市の文化財の概要
第3章 長野市の歴史文化の特徴	歴史文化の特徴	1 歴史文化の特徴の整理の経過 2 長野市の歴史文化の特徴
第4章 文化財の保存と活用の方針	保存・活用の課題	1 文化財の総合把握における課題 2 文化財の保存における課題 3 文化財の活用における課題
	保存・活用の方針	4 目指すべき姿を実現するための方針
	保存・活用の措置	5 文化財の保存と活用に関わる措置
第5章 関連文化財群	関連文化財群の課題・方針	1 関連文化財群の考え方 2 長野市の関連文化財群
	関連文化財群の措置	（各関連文化財群における措置）
第6章 文化財の保存活用に向けた推進体制	推進体制の設定（進捗管理・防災対策）	1 進捗管理と評価の方法 2 推進体制 3 文化財の防災対策
別章 文化財の一覧表	その他	文化財の一覧表

(第4章) 課題と方針の関係性

第4章-1 文化財の総合把握における課題

- ▶ 文化財の種別ごとの調査不足
- ▶ 地区ごとの調査不足
- ▶ 各地域で活動される団体との連携不足
→地域の団体による文化財調査や刊行物はあるが、情報が集積されていない

(総合把握における対策と方針)

- ▶ 各地域で守り伝えられてきた多様な文化財情報を、市民と共に掘り起しながら集積して、総合的に把握・公開できる体制・システムが必要
- ▶ 特徴的な歴史文化を広く知ってもらうための、計画的な調査体制が必要

第4章-2 文化財の保存における課題

- ▶ 行政で所蔵する文化財の保存管理に課題
→博物館等の文化財収蔵施設の適正な環境維持が困難になってきている
文化財建造物等の防災体制構築の遅れ など
- ▶ 民間所有文化財の管理体制に課題
→個人・団体所有文化財の後継者不足
定期的な現状確認やパトロール等の体制不足
- ▶ 各地域での活動団体や専門家との連携不足
- ▶ 文化財修理に要する費用や職人不足の課題

(保存における対策と方針)

- ▶ 経年劣化する文化財に対し、日常の適切な維持管理と計画的な修理が必要
- ▶ 災害等による文化財の滅失・損傷を防ぐために、各文化財の種別に応じた防災対策が必要

第4章-3 文化財の活用における課題

- ▶ 市民及び来訪者には、長野の歴史文化の特徴や魅力が伝わっていない。
- ▶ 文化財に関する情報発信が弱く、せっかくの活動も周知されていない。
- ▶ 文化財に関連する団体においても、活動内容のマンネリ化や組織の高齢化により、活動の減退が認められる。

(活用における対策と方針)

- ▶ 長野の歴史文化の特徴やストーリーを軸とした、魅力的な情報発信を進めるとともに、この地域でしか味わえない歴史文化の体験など、市民と来訪者の誰もが楽しみ、日常的に活用していく、持続可能な活用の体制づくりが必要

(全体的な文化財継承における対策と方針)

- ▶ 担い手不足や専門職人の不足、保存に必要な資金・資材等の不足に対しては、市民・行政・民間団体が一体となって次世代に継承していく仕組みが必要。

(第4章)基本方針と13の方針

基本方針1 文化財を掘り起こす(調査)

方針1-1 文化財を総合的に把握する

方針1-2 文化財を研究し価値づける

基本方針2 掘り起こした文化財を保存する(保存)

方針2-1 文化財を適切に維持管理する

方針2-2 文化財を適切に修理する

方針2-3 災害や盗難等に備える

基本方針3 歴史文化の魅力を伝え活用する(活用)

方針3-1 文化財を学ぶ機会を充実させる

方針3-2 文化財についての情報発信の充実

方針3-3 持続可能な文化観光を推進する

方針3-4 文化財を活かした歴史まちづくりを推進する

方針3-5 文化施設の持続可能な活用マネジメント

基本方針4 文化財が継承される仕組みを作る(継承)

方針4-1 文化財の担い手育成

方針4-2 文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る

方針4-3 文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する